

## マレーシア旅行のすゝめ

15 三宅久之助

今年の夏にマレーシアに行ってきたので、マレーシアの見どころやグルメを紹介していきたいと思います。

今回は7泊9日で主にマレーシアのグルメを堪能し、観光名所も周るというテーマで旅行をしました。旅のメンバーとして高校時代の友人3人と行きました。

まずは観光地を紹介していきます。

最初のスポットは「バテウ洞窟」という洞窟です。この洞窟は首都のクアラルンプールから車で1時間の場所に位置し、マレーシアのヒンドゥー教の聖地です。272段の階段を登った先に見ることが出来る幻想的な空間は生で見ないと味わえないものです。また、このスポットは野生の猿も生息し動物園でも近づけないほどの近さで猿を見ることが出来ます。たまに、この野生の猿に帽子などを盗られることも有るらしいです。(右図はバテウ洞窟の入り口です。)





次のスポットは首都クアラルンプールから南下し、オランダ占領下時代の西洋の風情を持つ街マラッカ(Melaka)に行ってきました。マラッカはオランダ占領下時代の建物、城壁などが残っておりマレーシアの歴史を学べる街です。街には歴史資料館があり中世時代から第二次世界大戦時の生活を実際の物を見ながら学べます。

次のスポットはマレーシアで最も高い建物で、世界で最も高いツインタワーとしてギネスにも載っているペトロナス・ツインタワーです。この建物はマレーシア最大の石油会社が保有するオフィスビルで、夜中にライトアップされ、展望台として利用することも出来る観光名所となっています。また、1階はショッピングモールとなっており、観光ついでにお土産を買ったりすることも出来ます。





最後に紹介するスポットは錫のマグカップや皿、置物を作るロイヤルセラランゴール工場です。マレーシアは錫の工業製品の生産が盛んでこの工場では錫の小物などを生産しています。マレーシアの錫製品はお土産に留まらず高級食器としても有名であり、日本でも代理店を持つほどの人気です。そして、この工場では生産過程を一般公開しており、マレーシアの錫製品の歴史を学べ、錫製品製作の体験などもできます。



次にマレーシアのグルメを紹介します。

マレーシアにはおもに、マレー料理・インド料理・中華料理・ニョニャ料理が有名です。マレー料理はマレーシアの伝統的な料理でインド料理・中華料理はそれぞれの伝統的な料理に少しマレー料理が混ざったもので、ニョニャ料理は中華料理とマレー料理が1:1で混ざった料理です。

初めに紹介するには伝統的なマレー料理です。この料理は、マレーシアの宗教上から豚は使わず羊肉を使った料理が基本で、味付けはかなり辛くなっています。辛いものが苦手な人は少々苦手かもしれませんが、ただ辛いだけでなく野菜や肉の旨味がスパイスにとっても合います。



次に紹介するのはニョニャ料理の中のラクサという麺料理です。この料理は米で出来た麺とスパイシーなスープが主でそこに肉や油揚げを載せたものです。作るのが簡単なのでマレーシアでは朝ごはんや昼ごはんなどによく食われています。



次に紹介するのはカンポンチキンと言う料理です。この料理はチキンを茹でてソースに漬けたものです。これをチキンと一緒に炊いたご飯と専用のソースに漬けたもやしと一緒に食べる料理です。シャキシヤキのもやしと味のついたチキンとご飯と一緒に食べるこの食感と味はここでしか味わえないものだと思います。

最後に紹介するのは肉骨茶（バクテー）という料理です。この料理は醤油味のベースに豚肉と野菜を煮込んだもので特に辛くなく、辛いのが苦手な方にもオススメな料理です。非常に白米と合い、日本人にも合う味だと思います。現地の方は主に昼ごはんや夕飯に食べる料理です。



## マレーシアの基本的な情報

人口: 2,995 万人(2013 年マレーシア統計局)

面積: 33 万平方キロメートル

首都: クアラルンプール

言語: マレー語・中国語・英語

通貨: マレーシア・リンギット(RM)≒25 円

宗教: イスラム教 (連邦の宗教) (61%)

仏教(20%)

儒教・道教 (1.0%)

ヒンドゥー教 (6.0%)

キリスト教 (9.0%)

その他



日本から南西に約 5000km の位置にあり経済・治安共に良好だが、最近ではイスラム過激派の影響で外務省から危険度 1 の情報が出ています。日本とは 2017 年に国交 60 周年を迎えます。

## 最後に

マレーシアの都心は観光というよりはむしろグルメを楽しむことや現地の人と会話するのがオススメです。この記事には書いていませんがマレー半島東側やボルネオ島には大自然が溢れ、都心とはまた違ったマレーシアが味わえると思います。次回の記事は大自然のマレーシアを書きたいと思います。この記事を読んだあなた、ぜひマレーシアに旅行してはいかがでしょうか。

カラーの写真が欲しい方は以下の URL に添付してありますので良かったらどうぞ。

(写真の公開サービスは告知なく終了することがあります。あらかじめご了承ください。)

<http://www.x68uec.org/files/other/press/2016/upload/malaysia-a.zip>